

## 平成 30 年度 高齢者支え合いコミュニティ支援事業団体

組織名	エクレール郡山自治会	代 表	会長 佐久間 昭 <sup>あきら</sup>
地域（市町村）	県中（郡山市）	加入世帯数 （所属人数）	302 世帯（1,130 名）

### （1）町内会（自治会）の特徴

郡山駅から北に 2 km 弱ほどの所にある、平成 5 年に完成の全戸数 220 戸という市内でも大きな集合住宅である。住民も当初に比べて高齢化していること、また東日本大震災を経て住民同士のコミュニケーションの大切さが再認識され、平成 29 年に管理組合・自治会役員有志によって「エクレール郡山高齢化対策検討会」が年 10 回開催された。検討会の提言を基に、平成 30 年より各事業に取り組んでいる。

### （2）事業実施背景

現在実施している自治会の事業は以下のとおりである。

これらをさらに発展すべく、本事業の活用に至る。

- ・住民交流会「EK ふれあいカフェ」毎月 1 回
- ・高齢者対象「健康スポーツ教室」毎月 2 回
- ・高齢者対象「健康講和」毎月 1 回
- ・住民全体対象「趣味の会」開催（手芸・囲碁・将棋・カラオケ・コーラス・ゴルフの会）
- ・高齢者独居対策の検討会 随時
- ・住民防災活動の実施 年 1 回
- ・大規模マンション自治会の管理運営と高齢化対策の先進地視察研修 年 1 回
- ・高齢者の買い物・通院等の付添、掃除・買い物代行の生活支援等のボランティアの実施

### （3）本年度事業実施内容と今後の方向性

#### <地域に住む者として>

マンションの施設を利用したスポーツ教室や趣味の会などを開催し、顔の見える関係づくりを行ってきた。今では教室終了後の住民同士の情報交換やおしゃべりの時間も増えてきている。

集合住宅といえどその地域の一つとして存在することに変わりはない。

集合住宅内全体の交流を活発にしてよりよい関係にしていくことは、自分が住む地域を良くしていきたいという方向性へと繋がっていくということである。

「マンションであれ一戸建てであれ、地域を良くしていきたいという気持ちは一緒です」と話されていたのが印象的であった。

①エクレール郡山自治会の管理組合理事である塩田幸男さんにお話を伺った。



②取材日は月に2回開催の「健康スポーツ教室」の日。女性だけでなく、男性の参加者も多く見られ、和気あいあいと行われていた。



③「EK (エクレール) 交流会だより」を作成し、回覧板やマンションの掲示版を利用して広報を行っている。

